

典籍古文書調査

1969年度歴史研究室の調査 2

本年度に実施した典籍古文書調査は、つぎのとおりである。

南都諸大寺関係古文書等の調査研究 興福寺については、第15・16・17号函を調査したが、その成果の一部を先に掲げた。東大寺については、東大寺要録・同続要録・探玄記洞幽抄(内27巻)を調査し、マイクロフィルムによる撮影を行った。また、『唐招提寺史料』第1巻(奈良国立文化財研究所史料)出版準備を進め原稿作製を完了した(45年度出版予定)。

仁和寺所蔵典籍古文書調査 塔中蔵階下収納の典籍類のうち第21箱より第50箱までの計30箱について、調査ならびに目録の作製を行った。大部分は江戸時代の版本であるが、一部に明版・清版・室町時代写本も認められた。

その他の典籍調査 藤井孝昭氏(京都市)所蔵典籍を調査したが、そのうち、鑑真和上三異事(保延7年書写奥書)東寺長者補任(鎌倉時代末期写本・紙背文書)は特に注目すべきものである。